

【活動報告】

神奈川の身近な自然を訪ねて ～錦秋の鎌倉・二階堂を訪ねる～

日時：2023年11月22日（水）25日（土）10:00～14:30

場所：鎌倉市

参加者：一般42名（22日26名、25日16名）スタッフ9名

午前は鎌倉宮と覚園寺を見学しました。覚園寺で昼食後、午後は、永福寺跡、瑞泉寺を見学。瑞泉寺から鎌倉宮に戻り解散としました。

JR 鎌倉駅に集合し、路線バスで鎌倉宮に向かいました。鎌倉宮では拝殿、摂社村上社、本殿を見学後、神苑で護良親王が9ヶ月に渡り幽閉されていたと伝わる土牢を見学しました。また、神苑では、クスノキ、カクレミノ、サカキ、ムラサキシキブ、イヌビワ等の樹木を観察することができました。

薬師堂ヶ谷を平子川に沿い15分ほど散策し、覚園寺に向かいました。途中、ハゼノキ、ヒイラギの花、赤い実をたくさん付けたサネカズラ、シロダモの花、クロガネモチ、カクレミノ等を観察することができました。

覚園寺では、住職から薬師堂の説明をしていただいた後、境内を散策しました。境内では、樹齢600年～700年と伝わるイヌマキ（かながわの名木100選）の古木、ナギ、メタセコイア、イチョウ、コマユミ、ニシキギ、シロヨメナなどの植物を観察することができました。境内を散策した後、北条の間等をお借りして昼食としました。

覚園寺での昼食後、永福寺跡を経て、瑞泉寺に向かいました。瑞泉寺では、本堂、本堂前の黄梅（鎌倉市天然記念物）、岩盤を削って作られた禅宗様庭園などを見学しました。黄梅は江戸時代からの古木で、牧野富太郎博士によって名付けられたとのこと。

瑞泉寺を見学の後、鎌倉宮に戻り、解散としました。

二日間とも雨に降られることなく、晩秋の鎌倉での植物観察と史跡めぐりを楽しむことができました。

（大橋記）



鎌倉宮神苑の散策



覚園寺山門



覚園寺境内で樹木の観察



永福寺跡



瑞泉寺本堂前で黄梅の観察



瑞泉寺庭園の見学